

環境調査事業 “カワラノギク育成相模川下” での活動報告 (1)

相模川河川敷の玉石河原の復元作業

2011/5/11 9:00-16:30 作業参加者 合計 12名 記: 峯谷

目的: 在来種「カワラノギク (絶滅危惧種 I B類)」の生育環境である玉石河原を復元する。このため、玉石河原の上部に堆積した砂及び砂の堆積を作りだしたと推定されるシナダレスズメガヤを除去する。

参加者 国土交通省関係 : 京浜河川事務所 中村相模出張所長、長谷川技術係長 以下 5名 計 7名、寒川町 町民環境部山下主任

桂川・相模川流域協議会 市民会員 岡田 (相模原地域協議会) 中門、河野、峯谷 (相模川湘南地域協議会) 合計 12名

<p>9:00 市民会員が圃場場所を選定。 手前は焼けた跡に出た新芽,後ろは昨年からのシナダレスズメガヤの群生</p>	<p>9:50 所長による作業指示</p>	<p>10:00 道端から作業開始、午前中でシナダレスズメガヤ除去終了</p>	<p>12:00 午前の作業終了 道端近くは玉石河原が出ているが後ろは厚い砂の層</p>
			
<p>16:30 完成 東側道路側を望む 道端から奥に依り表層と圃場の高低差が大きく、奥では差 50cm?</p>	<p>16:30 完成 西側相模川を望む 奥中央の小山は作業で除去した3m四方、厚さ40cm くらい、重さは重機と同じくらいのコンクリート片 2個</p>	<p>復元した砂の層の下にあった河原</p>	<p>完成した圃場 最初の写真と同じ視野</p>
			